



「さつま町」の町章

ひらがなの「さ」をモチーフに、山の緑と川の青、赤色は太陽をイメージし、町民が穏やかに融合する様子をデザインしたものです。

SATSUMA TOWN GUIDEBOOK 2013

さつま町町勢要覧

■発行日／平成25年12月
■発行／鹿児島県さつま町
〒895-1803
鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1565-2
TEL.0996-53-1111 FAX.0996-52-3514
[ホームページ] <http://www.satsuma-net.jp/>

さつま町 町勢要覧 2013



さつま町

鹿児島県 さつま町

Satsuma
SATSUMA TOWN
GUIDEBOOK
2013町勢要覧

ひと・自然 元気がやぐ さつま町

ごあいさつ

平成17年の合併により誕生した「さつま町」も8年が経過いたしました。さつま町3期目の町長として、2万3千人の町民の皆様とともに夢と希望の持てる元気な町づくりをめざします。

さつま町は、紫尾山、川内川や優れた泉質の温泉など大自然の恩恵に浴しており、また、米、畜産、梅、たけのこなど豊かな農林産物、さらには、長い時間の移り変わりの中で培われた文化や歴史があります。

このような個性豊かな資源・特性を活かしながら、町民が愛着と誇りの持てる元気な「さつま町」をつくってまいります。

さつま町長 日高 政勝

こころのふるさと さつま

故郷の四季を
感じるまち Satsuma

さつま町は、霊峰・紫尾山に見守られ、
緑豊かな森林や竹林資源に恵まれたまちです。
まちの中央を南九州一の大河「川内川」がゆったりと流れ、
四季折々に変化する豊かな自然を心と体で満喫できるまちです。
そこに暮らす人々にとっても、そこを訪れる人々にとっても
「こころのふるさと」を感じるまちです。

CONTENTS

さつま町マップ	04
まちの特産品	06
観光	08
イベント・スポーツコンベンション	10
伝統工芸	12
基本理念(目標)	14

特集 4つのテーマ

地域元気再生

- 地域活動18
- 歴史・文化20
- 高齢者福祉22

元気な農林・商工業のまち

- 農林業26
- 商工業28

子ども健やか育成

- 保健・医療32
- 教育34

安心・安全のまち

- 消防・防災・交通安全・防犯38
- 行政・議会40
- 資料編41

春 夏 秋 冬



「紫尾山頂から」

さつま町イラストマップ

川内川
鶴田ダム
大鶴ゆうゆう館
鶴田ダム公園
川薩グリーンロード
インターナショナルゴルフリゾート京セラ

紫尾山 (1067m)
紫尾神社
紫尾温泉
紫尾温泉
神の湯ふれあい公園

平川郷 (生産物直売所・温泉)
宮之城温泉
宮之城歴史資料センター
宗功寺公園
かぐや姫の里 (ちくりん公園、かぐや姫グラウンド)
北薩広域公園
宮之城文化センター

つるだ特産品販売所「自慢館」
倉内工業団地
佐志ニュータウン
宮之城ちくりん館
宮之城運動公園・総合体育館

薩摩支所
観音滝公園
滝の宿
さつま特産品直売所
永野金山

二渡
せせらぎの郷二渡
二渡ホテル

宮之城ちくりん館

さつま町役場
宮之城鉄道記念館 (さつま物産館)
宮之城

鶴田支所
湯田原ニュータウン
鶴田赤坂ニュータウン

ふるさと薩摩の館
ガラス工芸館「薩摩の郷」
永野鉄道記念館

奥薩摩のホテル
健康ふれあいセンター
あび〜る館

白男川紫陽館
宮之城伝統工芸センター

中津川定住促進住宅団地

さつま町
さつま町

さつま町へのアクセス

- 鹿児島市内から(約50km・70分)
 - ・鹿児島市内(九州自動車道)>>横川IC>>(県道50号+国道504号)さつま町
 - ・鹿児島市内(国道3号+国道328号)>>さつま町
- 薩摩川内市内から(約25km・30分)
 - ・薩摩川内市内(国道267号)>>さつま町
- 出水市内から(約30km・35分)
 - ・出水市内(国道328号)>>さつま町
- 鹿児島空港から(約35km・40分)
 - ・鹿児島空港(国道504号)>>さつま町

● 九州新幹線(博多～鹿児島中央間)と関連主要駅

さつま町	出水駅	博多駅	広島駅	新大阪駅	東京駅
約35分(車)	72分	64分	82分	156分	
1時間47分		4時間13分		6時間49分	

九州新幹線
九州自動車道
国道3号
国道267号
国道328号
国道504号

東京 95分
名古屋 75分
大阪 65分
福岡 40分

鹿児島市 50km
出水市 30km
薩摩川内市 25km
伊佐市 30km
宮崎市 約2時間
高尾野 30km
阿久根市
いちき串木野市
鹿兒島北I.C.
桜島



さつま町の概要

地勢・位置
さつま町は、鹿児島県の北西部、鹿児島市から約50kmのところの位置し、周囲を山々に囲まれた盆地で、面積は303.96km²です。社会基盤では、主要都市へ通じる国道267号、328号、504号、など、産業の展開や地域発展のための動脈を担う広域交通基盤が市街地を中心として放射状に整備されており、この地域拠点の特性を活かしながら、さつま町の将来が限りなく発展していくよう地域の活性化をさらに推進していくこととしています。

歴史
明治22年4月の市制・町村制の施行により、本地域では24村が6村となりました。その後幾多の変遷を経てそれぞれ宮之城町、鶴田町、薩摩町として歩んできた3町が、地方分権の時代に町民の期待にこたえる新しい町を創りあげることを目的として、平成17年3月22日に誕生しました。

自然
さつま町は、鹿児島県北西部・北薩地域の中心部に位置し、町の北部には標高1,067mの紫尾山(しびざん)があり、ここから分岐する山々に囲まれた緑豊かな町です。また、町のほぼ中心を南九州一の大河である川内川(せんだいがわ)が貫流しており、田園や緑豊かな森林、小川のせせらぎや温泉など自然いっぱいの町です。

気候
気候は、太平洋岸気候区に属していますが、周囲を山々に囲まれた盆地であるため、夏は蒸し暑く、冬の冷え込みが厳しい内陸的な気候となっています。平均降水量は年間2,400mmを超え、6月の雨量は約600mmと年間を通じて最も多く、また年間の平均気温は17℃で、冬には紫尾山に冠雪や樹氷が見られ、平地においても積雪を観測することがあります。

交通
交通条件は、国道3路線(267号、328号、504号)が町の中心部で交差し、一日延べ3万台を超える車両の往来があるなど、人・物・情報を運ぶ大変重要な路線を抱えています。東に年間利用者約450万人を超える鹿児島国際空港や九州縦貫自動車道横川IC、西に九州新幹線川内駅、出水駅等があり、県都鹿児島市へは約70分で行くことができる恵まれた位置にあります。また、現在国道504号については、空港にアクセスする高規格道路としても整備が進められています。



さつま伝統の技と心を味わう

薩摩西郷梅

さつま町は九州一の南高梅生産地。さつまいの梅は香り豊かで大粒で、肉質良好。

梅の加工品は樹上で完熟させた南高梅を使っています。完熟した南高梅だからこそ梅の味を最大限に引き出します。梅干しをはじめ、梅ドレッシング、梅マーマレード、梅よかん、梅ジュース、梅エキス等があります。



お茶

さつま町は日中と夜間の寒暖の差が大きく、川内川から発生する濃い霧の中で育ったさつま町茶「みやかおり」は県内でも有数の質の良いお茶として多くの方々に親しまれています。



薩摩西郷梅園

梅園では、2月中旬頃から梅の花が咲き始め、町内外から多くの方が花見に来られます。



紫尾温泉あおし柿

毎年10月中旬から11月下旬、紫尾温泉の硫黄泉を利用した渋抜きは季節の名物。独特の風味の甘い柿に変身します。



たけのこ

日本一の早掘りたけのこ(10月)の産地。東京の築地市場等でも高値で取引される香り高い逸品です。孟宗竹(モウソウチク)のほかにも、真竹(マダケ)・布袋竹(ホテイチク・コサンダケ)・緑竹(リョクチク)など、多彩なたけのこを味わうことができます。



川の幸

本町を貫流する九州有数の大河である川内川では、鮎や山太郎ガニ(モクスガニ)、ウナギ、川エビ(テナガエビ)等が獲れ、川の幸が豊富な川です。特に6月の鮎漁解禁にあわせて県内外から多くの釣り客が訪れ、鮎の友掛けを楽しみ、秋の落ち鮎シーズンには、やな漁が行われる等、川内川から多くの恵みを受けています。



焼酎

小牧醸造・軸屋酒造・植園酒造の焼酎蔵があります。地元で愛され続ける芳醇な芋焼酎です。

自然と人とのふれあいを
満喫できるまち

観音滝

観音滝は、総落差18m。三段の岩肌を貫いて流れる美しい滝。大きな滝壺も特徴です。この滝がある観音滝公園には、キャンプ場、河川プール、そば打ち体験ができる実習館、ガラス工芸館、グラウンドゴルフ場、温泉など施設も充実しており、心とからだをリフレッシュできます。



温泉

紫尾温泉・宮之城温泉など21か所もの温泉施設があり、歴史ある温泉の町です。



鹿児島県立北薩広域公園

町を流れる川内川、森林などの景観を生き、芸術性や文化性を備えた北薩地域全体のシンボリックな役割を果たしています。



観光農園

旬の季節に、ブドウ・ナシ狩りなど自然の恵みが味わえます。

グリーン・ツーリズム

「さつま町グリーン・ツーリズム研究会」が中心となって、棚田オーナー・宿一飯・森林体験学習・四季折々の体験ツアーや農家民宿による都市と農村の交流を展開しています。グリーン・ツーリズムが新たな観光の形として着実に根付いています。





夏祭り

8月上旬に開かれる町最大のお祭り。約20組の竹みこしと約1000人の踊り連が繰りだし、五ツ太鼓250台の演奏で賑わい、町がひとつになるお祭りです。

人が地域がまじわる

川内川を中心に、森林、竹林、温泉、郷土の食、ホテル等の地域資源を活用したイベントや様々な取り組みが盛んに行われています。特に地域住民による手づくりイベントは、地域の自然、特色を十分に活かしたイベントとして定着しつつあります。

また、芸術作品の鑑賞機会の創出や吹奏楽、郷土芸能、絵画など自主的な文化活動も積極的に展開されています。

さらに、整備された体育施設や温泉宿泊施設を利用したスポーツ合宿や各種大会の開催など、町内外の多くの人々との交流も活発に行われています。





ホタル舟

さつま町は、日本で最も早くホタルが見ることができ、町の中心を流れる川内川では、「奥薩摩のホタル舟」と「二渡ホタル舟」を運航(5月下旬)



水辺の楽校さつま龍舟祭

神子橋下流の川内川でドラゴンボートレースを開催(8月下旬)



お月見コンサート

秋の名月を背景に町内の小中学校・高校の吹奏楽部と宮之城吹奏楽団の演奏(10月中旬)



薩摩寒蘭展示大会

町民が丹精を込めた自慢の薩摩寒蘭の名花を優雅に競い合います(11月中旬)



さつまフェスタ

ステージ・農林産物・特産品などの展示販売・ゲーム・さつま大鍋など多数(11月第3日曜日)



みやんじょ温泉竹ホタル

宮之城温泉街で開催
神社から温泉街への約700mの通りに約7000本の竹灯籠が並べられ、幻想的な世界が広がります。(12月上旬)

伝統に生きる匠の技



ガラス工芸 薩摩切子

観音滝公園内で、薩摩切子や創作びーどろの製造販売を行っています。工場見学やガラス制作体験ができます。鹿児島県伝統的工芸品に指定され、海外でも展示会を開催しています。金赤・黄・緑・瑠璃・藍・黒と6色の薩摩切子が、江戸以来のカットガラスの輝きを今に伝えています。





鶴田和紙

江戸時代の藩政改革の一環として奨励された手漉きの紙漉きが鶴田和紙の起源とされ、鹿児島県伝統的工芸品の指定を受けています。原料はクワ科の「梶楮(カジコウゾ)」を使用。丈夫で味のある手触りの和紙で、神事・書道・水墨画用や、茶とり紙などに使われており、焼酎のラベル用としても人気です。地域の小中学校の卒業証書を生徒自ら漉く活動やグリーン・ツーリズムでの紙漉き体験活動も実施され、大変喜ばれています。



竹工芸

緑の若竹の色、年季の入った古竹の色。竹の姿や色、香りには、日本人の琴線に触れるものがあります。日本の孟宗竹の歴史は、島津家21代藩主島津吉貴公の時代に琉球から伝えられたものがはじまりとされます。鹿児島県は孟宗竹の栽培面積日本一を誇り、なかでも、さつま町は最大級の面積を有し、竹細工も昔から盛んです。熟練の技を持つ一級竹工芸技能士の手から生み出される作品の数々は竹工芸の精華です。



宮之城人形

宮之城人形は、明治時代につくられていた彩色された素焼きの土人形です。

平成17年に66年ぶりに復活し、現在まで宮之城人形復興会員により継承されており、代表的な作品に「天神さん」「鯛持ち」など味わい深い人形があります。



人々が織りなす 元気で快適な活力あるまち

まちづくりの基本目標

1. 豊かな地域資源を核とした活力あふれる産業のまち
2. 思いやりと温かさが育む地域福祉創造のまち
3. 教育と文化の薫る生涯学習推進のまち
4. 自然と調和した便利で快適なまち
5. 人々の生活視点から創る環境美化のまち
6. 住民と行政が協働するまち





SATSUMA TOWN
GUIDEBOOK
2013

さつま町では、4つのテーマに積極的に取り組んでいます

地域 元気再生

受け継がれてきた「自然」「食」「歴史」など地域資源を活用し、産業、教育、観光など広い分野で活発な交流を展開しながら、「人」「もの」「情報」が行き来する活力のあるまちをめざします。



元気な 農林 商工業 のまち

豊かな農林・商工業資源があります。これらの個性あふれる資源を地域振興の柱として、町の飛躍を図ります。



子ども 健やか 育成

未来を担う子どもたちを「地域の宝」として健やかに育てることは私たちに課せられた使命のひとつです。地域・学校・家庭が連携して健全育成に取り組めます。



安心・安全 のまち

環境問題・災害対策・交通問題・犯罪防止に積極的に取り組み、町民一人ひとりが安心して暮らせるまちを実現します。





地域 元気再生

地域みんなが協働し、豊かな自然を守り育てながら後世に伝えていくため、協働活動を積極的に支援し、特色ある地域づくりに向けて、地域の元気再生を図っていきます。

すてきなまちには、すてきな表情があります。「まちの顔」づくりともいえる景観形成についても、地域や企業と一体となり、意欲的に取り組んでいます。



地域
元気再生

地域活動



元気な 地域づくりを推進

少子高齢化、人口減少が急進する中、元気な地域づくりの
活力源となる特色豊かな地域活動を強力に支援します。



時吉チューリップ祭り

時吉運動公園周辺で開催される地域のお祭り。休耕田に植えられた1万本のチューリップが、色鮮やかに花を咲かせ、スケッチ大会やグラウンドゴルフ、地元特産品の販売などが行われます。(4月)



地域活動

ひがん花まつり

お彼岸のころ柘野で開催される地域のお祭りです。赤く咲き誇るひがん花の観賞や郷土芸能、児童たちの郷土研究の発表、特産品の「みそびら弁当」の販売など、地域一体となるお祭りです。(9月)



金吾様踊り

中津川大石神社の大祭で踊りを奉納。金吾様は、大石神社に祀られている第15代藩主島津貴久の三男歳久のこと。(9月)



紫尾温泉祭り



紫尾温泉で開催される紫尾区民手づくりのお祭りです。昔から伝わる伝統芸能の「太太鼓おどり」「棒踊り」などが披露され、もちろん名物の「あおし柿」も堪能できます。(10月)





歴史の息吹 魅力ある文化のまち

古墳時代の別府原古墳、平安時代の紫尾山神興寺僧侶の墓石塔群や虎居城跡、宮之城島津家菩提寺の宗功寺墓地、産業遺産としての永野金山など、古来より続く歴史の息吹をまちの至るところで感じることができます。

また、さつま町は、子どもから大人まで音楽に親しむ吹奏楽のまちでもあります。

『さつま町みやんじょ吹奏楽フェスタ』『お月見コンサート』は、身近なところで音楽に触れることができ、音楽をととした交流の輪が広がっています。



文化

郷土芸能

鷹踊り、棒踊り、アケスメロ、大太鼓踊りなど郷土芸能の宝庫です。特に県指定の無形民俗文化財の求名下手地区の鷹踊りは、藩主の領内見廻りや祭りなどで舞われた、優雅で華麗な男踊りです。



棒踊り



鷹踊り



アケスメロ



大太鼓踊り

吹奏楽

さつま町では、小中高6校に吹奏楽部があり、社会人の宮之城吹奏楽団の演奏活動も盛んです。1月開催のみやんじょ吹奏楽フェスタは「吹奏楽の町」を感じることのできるイベントです。



宗功寺【県指定文化財】



宗功寺は宮之城島津家の菩提寺。廃仏毀釈で廃されましたが、宮之城島津家の墓が残されています。隣接する歴史資料センターで、さつまの歴史について学ぶことができます。



歴史

別府原古墳【県指定文化財】

昭和42年発見。さつま町永野の別府原古墳群は、古墳時代の5世紀代の北薩地方に特有の石積みの墓で、鉄剣・鉄鏃などの武器も納められていました。



神興寺僧侶墓石塔群【町指定文化財】



平安時代にさかのぼる紫尾山神興寺僧侶の墓石塔群。最も古いものは応永23年(1416年)の藝全僧正のもので、一番大きなものは、神興寺を中興した権大僧都憲春法印の石塔。



昭和28年に閉山するまで300年余り黄金の国ジバングの金を産出し続けた日本有数の金山跡です。永野金山の遺構として、胡麻目坑・九郎太郎川橋脚・鉱業館跡石垣などが残っています。



永野金山



健やかな 長寿社会づくり

高齢者が自分の知恵・技術・労働能力を活用し、生涯現役で活躍できる環境づくりを推進するため、町民総ぐるみで健やかな長寿社会づくりを進めています。「シルバー人材センター」等における高齢者の雇用・就業の場の確保、心豊かに自立する高齢者をめざす「高齢者クラブ(老人クラブ)」活動への参加促進、高齢者の閉じこもり予防を目的とした「高齢者ふれあいいいききサロン」などに取り組んでいます。



高齢者活動

高齢者のニーズや健康状態、生活環境に応じて誰もが社会参加できるよう、個々の状態に応じた生きがいづくりを支援します。

地域では、「高齢者ふれあいきいきサロン」による心身の健康づくりや介護予防につながる活動が活発に取り組まれています。



脳のスこやか塾
(くもん式学習を活用した認知症予防)



ハッスル貯筋教室



高齢者
ふれあいきいき
サロン



健康増進

健康いきいき「元気さつま」をめざし、特定健診や健康相談による各種保健事業をはじめ、食生活における栄養指導や身体活動などを支援します。



特定健診



水中ウォーク

健康づくり
教室





元気な 農林 商工業 のまち

さつま町は、豊かな農林資源、商工業資源を有しています。これら個性あふれる資源を地域振興の柱として、新たな地域の飛躍を図ります。

また、さつま町には、北薩森林管理署、北薩森林組合、JA北さつま、北薩農業共済組合など北薩地域の主要な農林業関係機関・団体が集積しています。これら農林業の中核機関がお互いに連携・協力することにより「農林業中核都市の創造」を進め、関係部署との有機的なネットワークをつくり、まちの基幹産業である農林業の振興を図ります。





名牛「平茂勝」の顕彰像碑
優秀な種雄牛に恵まれ全国に誇れる「優良牛」の産地。なかでも平成2年に誕生した「平茂勝」は、全国の和牛の改良へ多大な貢献をした名牛で、日本全国に優良和牛遺伝子が受け継がれています。

“薩摩のさつま”ブランド

さつま町を北東から南西にかけてゆったりと流れる川内川がもたらす肥沃な耕地と紫尾山へとつながる山間部の豊富な森林資源は、味わい豊かな“薩摩のさつま”ブランドの数多くの農作物を生み出しています。



農業

さつま町は、周囲を山々に囲まれた盆地で水田が多く、県内有数の良質米の産地として販売されています。また、「南高梅」は九州一の栽培面積を有しており、「なし・ぶどう」などの落葉果樹や「きんかん・マンゴー」の施設果樹、香りが深い「お茶」などが栽培され、JA北さつまとの連携により、「薩摩のさつま」ブランドとして生産・販売しています。



いちご



マンゴー



県内有数の良質米産地の水田



一面に広がる茶畑



九州一の梅の産地 南高梅

林業

森林の整備と森林資源の有効利用を図る観点から、優良材の生産を目標とした保育・間伐等を計画的に進めています。

県内でも最大級の面積を誇る孟宗竹林では日本一の早掘りたけのこをはじめ、竹の有効利用として竹工芸品等の加工が盛んに行われています。

日本一の
早掘りたけのこの産地

元気な
農林業
商のまち

商・工業



オンリーワンの
商店街・商店・商品づくり

商業

魅力ある商店街づくりをはじめ、個性あふれる商店商品づくり、ここにしかない“オンリーワン”を目指し、商業の活性化に努めます。



にこにこ広場



百縁祭



初市



工業

地域の振興と雇用機会の増大を図るため、工業団地の整備や各種優遇制度を拡充するとともに、県内外の情報収集に努めながら、関係機関・団体一体となった企業誘致活動を積極的に展開します。



倉内工業団地



田原工業団地





子ども 健やか 育成

未来を担う子どもを“地域の宝”として健やかに、しっかりと育てることは、今を生きる私たちの努めです。地域・学校・家庭が連携して子どもたちの健全育成が図られるよう意欲的に取り組み、「子どもを育てるならさつま町で」と言われるような環境づくりを進めています。



子ども
健やか
育成

保健・医療



子どもを育てるなら さつま町で

「元気のびのびさつまっ子の笑顔・社会全体で
支えあう心の輪・喜びわかちあう未来の宝」をめ
ざし、子育て家庭が楽しさや喜びを実感し、将来
を担う子どもたちが心豊かで健やかに育つ環境
づくりに取り組んでいます。



こども図書館



子育て支援

安心して子育てができるよう、保育料の軽減などさまざまな子育てを支援します。



ブックスタート



放課後児童クラブ

保健・医療

子どもや親の健やかな成長のため、各種健診や乳幼児に対する医療費の無料化に取り組んでいます。



3歳児健診



歯科健診



2歳児健診



4ヶ月健診

子ども
健やか
育成

教育



夢拓く 学びの創造 地域に開かれた特色ある学校づくり

心豊かな人間を育てるには、教育の充実が必要不可欠です。さつま町では、幼児・児童から、働く世代、高齢者の方々まで、すべての世代の心を豊かにする、生涯学習の観点に立った諸学習活動の充実を最優先の課題としています。「子どもを育てるならさつま町で」「生涯学習ならさつま町で」の意気込みで、ふるさと「さつま町」の良さを生かし、地域に根ざした特色ある教育活動に取り組んでいます。





学校教育

子どもたちの明るい未来のために、子どもたちの人格形成の場としてふさわしい教育環境の充実に努めています。学校では、学力の向上、道徳教育の充実、小中連携教育の推進、親子読書活動の取組、早寝・早起き・朝ごはん運動の定着に取り組んでいます。また、地域の指導者を招き、伝統芸能の継承をすすめ、運動会や地域の行事で発表したり、地域の資源(めだか、かぶと虫、彼岸花、竹、和紙等)を活かした活動を行うなど、地域に開かれた特色ある学校づくりを展開しています。



柏原小 川の生き物調査



盈進小集団下校



中津川小 そば打ち体験



白男川小 和太鼓演奏



鶴田中 農業体験



宮之城中 農業体験



薩摩中 職場体験



山崎中 ボランティア活動

社会教育

生活習慣等の変化や近年の余暇時間の増大に伴い、人々の学習のニーズも多様化しており、学校教育だけでは得ることができない知識や経験、技術への欲求が高まっています。こうしたなか、「誰でもいつでもどこでも」という生涯学習の基本理念のもと、個性あふれるスポーツ文化の振興にも努め、生涯を通じた学習機会の提供・拡大を図っています。また、「さつまの日」運動の展開や郷土愛を育む「ふるさと体験塾」の開催など、次代を担う個性豊かでたくましい健全な青少年「さつまっ子」の育成を推進しています。



ジュニアリーダークラブ(危険予知トレーニング)



生涯学習講座(エコクラフト)



さつまふるさと体験塾(梅干加工)作業



さつまふるさと体験塾(紫尾登山)



安心・安全 のまち

近年、地球温暖化の影響等で風水害等災害発生頻度が高まるとともに、地震などの災害が心配されています。また、交通事故が多発傾向にあると同時に犯罪なども増加しています。このような災害を未然に防いだり被害の程度を軽減したり、危機管理のあり方を明確にしなが、町民が安全に安心して暮らせるさつま町を実現していきます。



安心・安全
のまち

消防・防災
交通安全・防犯



安心・安全 住みよい町づくり

安心・安全な町づくりに向けて地域防災計画に基づいた防災体制や防災施設の整備を進め、地域の防災意識の高揚に努めています。

自然災害を未然に防止する体制を確立し、住民の生命と財産を守る災害に強いまちづくりを推進しています。



消防・防災

住民の生命及び財産を災害から守るため、防災施設設備の充実を図るとともに、自主防災組織の活動促進や「自助」「共助」「公助」の精神のもと、防災に努めています。



防災無線の放送



幼年消防



消防操法訓練



避難訓練

交通安全・防犯

国道3線(国道267号、328号、504号)を始め、道路網が発達し、車の通行量が多いことから、警察署や交通安全協会等と連携し、各種交通安全対策を推進しています。

犯罪を未然に防止するため、警察署や防犯協会等の協力を得ながら安全安心なまちづくりに努めています。

交通安全・防犯
運動





議会



行政

さつま町は、平成17年に旧宮之城町、旧鶴田町、旧薩摩町の三町が合併して誕生した新しい町です。

未来へ向けて夢と希望のもてるまちづくりを進めるために無駄を省きながらコスト削減を行う一方で、地域の力となるよう未来への投資も積極的に行います。

また、「行政サービス日本一」をめざし、町民の皆様喜んでいただける行政サービスの提供や職員の意識改革と能力開発に努めます。

行政情報についても積極的に公開し、町政に対する理解と信頼をいただけるよう、町民参加による公正で開かれた町政をめざします。

さつま町議会は、議長・副議長をはじめ、16人の議員で構成されています。総務厚生・文教経済の2つの常任委員会が設置されており、町の施策や条例・予算・請願・陳情などを審議し、町民の負託に応えた議会活動を行っています。

三 役



町 長
日高 政勝



副町長
紺屋 一幸



教育長
東 修一

議 会



議 長
舟倉 武則



副議長
柏木 幸平



資料編

- さつま町のあゆみ
- 人口の推移
- 人口ピラミッド
- 旧町別人口の推移
- 地区別人口
- 産業別15歳以上就業者数の推移
- 町民所得主要指標の推移
- 農家数の推移
- 農家年齢別世帯員構成
- 平成24年度農業産出額
- 気象状況／気温・降水量(年別)
- 気象状況／気温・降水量(月別)
- 産業別人口
- 商業の概要
- 工業の概要(従業員4人以上の事業所)
- 主な公共施設一覧
- 幼稚園・保育園・学校等一覧

さつま町のあゆみ

- 平成16年(2004) ○町制施行50周年記念式典
平成15年(2003) ○大相撲宮之城場所開催
平成14年(2002) ○北薩広域公園(ふるさとゾーン)オープン
平成13年(2001) ○県営農地開発事業(市立原地区)完成
平成12年(2000) ○山崎小学校舎完成
平成11年(1999) ○中国浙江省安吉県と友好交流協約締結
平成10年(1998) ○ヤマト大橋完成(国道504号)
平成9年(1997) ○防炎無線共用開始
平成8年(1996) ○倉内工業団地第二期工事完成
平成7年(1995) ○宮之城ひまわり館オープン
平成6年(1994) ○県民体育大会開催
平成5年(1993) ○全国実業団バレー男子リーグ開催
平成4年(1992) ○総合体育館が完成
平成3年(1991) ○救急センターが完成
平成2年(1990) ○歴史研修センター開催
平成元年(1989) ○国鉄宮之城駅跡に鉄道記念館建設
昭和60年(1985) ○虎居地区公民館完成
昭和59年(1984) ○佐志地区簡易水道完成
昭和58年(1983) ○山崎地区公民館完成
昭和57年(1982) ○高校総体女子ホッケー競技開催
昭和56年(1981) ○農村勤労福祉センター・保健センター完成
昭和55年(1980) ○片倉工業が閉鎖
昭和54年(1979) ○宮之城商工会館完成
昭和53年(1978) ○町立武道館が完成
昭和52年(1977) ○老人福祉バスを購入
昭和51年(1976) ○里村と姉妹町村協約を締結
昭和50年(1975) ○総合センター完成
昭和49年(1974) ○日本特殊陶業株式会社宮之城工場操業開始
昭和48年(1973) ○鶴宮中閉校
昭和47年(1972) ○佐志小に屋内プール完成
昭和46年(1971) ○宮之城が開放
昭和45年(1970) ○西公園完成
昭和44年(1969) ○町社会福祉協議会を法人化
昭和43年(1968) ○県道鹿兒島水俣線(国道昇格)500号線
昭和42年(1967) ○町立体育館が完成
昭和41年(1966) ○宮之城郵便局が普通郵便局に昇格
昭和40年(1965) ○国民宿舎(さつま庄)オープン
昭和39年(1964) ○山崎郷御飯屋文書が県文化財に指定
昭和38年(1963) ○興隆寺(本堂)内陣が県文化財に指定
昭和37年(1962) ○求名村が分村
昭和36年(1961) ○宮之城村が町制施行
昭和35年(1960) ○山崎村(屋地村、虎居村、船木村、時吉村、湯田村、終野村、求名村、平川村、山崎村、渡村、泊野村、白明川村、山崎村、久置木村、佐志村、廣瀬村、田原村)
明治22年(1899) ○町村制施行

旧3町のあゆみ(共通事項)

- 昭和38年(1963) ●薩摩郡東部汚物処理組合設立
昭和43年(1968) ●紫尾山頂にテレビ中継局開局
昭和46年(1971) ●川内川が建設省直轄河川に指定
昭和47年(1972) ●さつま農業協同組合が発足
昭和48年(1973) ●薩摩中央家畜市場完成
昭和49年(1974) ●広域し尿処理場、ごみ焼却場が操業開始
昭和51年(1976) ●祁答院地区視覚ライブラリー設立
昭和55年(1980) ●祁答院地区消防組合設立
昭和59年(1984) ●川薩広域営農団地農道に着工
昭和62年(1987) ●国鉄宮之城線廃止
平成4年(1992) ●薩摩中央家畜市場移転完成
平成9年(1997) ●鹿兒島県北西部地震(震度6弱)発生
平成11年(1999) ●さつま東部環境センター本稼働
平成16年(2004) ●宮之城町、鶴田町、薩摩町の合併協定調印式
●薩摩中央高校の開校

旧宮之城町のあゆみ

- 平成16年(2004) ○町制施行50周年記念式典
平成15年(2003) ○大相撲宮之城場所開催
平成14年(2002) ○北薩広域公園(ふるさとゾーン)オープン
平成13年(2001) ○県営農地開発事業(市立原地区)完成
平成12年(2000) ○山崎小学校舎完成
平成11年(1999) ○中国浙江省安吉県と友好交流協約締結
平成10年(1998) ○ヤマト大橋完成(国道504号)
平成9年(1997) ○防炎無線共用開始
平成8年(1996) ○倉内工業団地第二期工事完成
平成7年(1995) ○宮之城ひまわり館オープン
平成6年(1994) ○県民体育大会開催
平成5年(1993) ○全国実業団バレー男子リーグ開催
平成4年(1992) ○総合体育館が完成
平成3年(1991) ○救急センターが完成
平成2年(1990) ○歴史研修センター開催
平成元年(1989) ○国鉄宮之城駅跡に鉄道記念館建設
昭和60年(1985) ○虎居地区公民館完成
昭和59年(1984) ○佐志地区簡易水道完成
昭和58年(1983) ○山崎地区公民館完成
昭和57年(1982) ○高校総体女子ホッケー競技開催
昭和56年(1981) ○農村勤労福祉センター・保健センター完成
昭和55年(1980) ○片倉工業が閉鎖
昭和54年(1979) ○宮之城商工会館完成
昭和53年(1978) ○町立武道館が完成
昭和52年(1977) ○老人福祉バスを購入
昭和51年(1976) ○里村と姉妹町村協約を締結
昭和50年(1975) ○総合センター完成
昭和49年(1974) ○日本特殊陶業株式会社宮之城工場操業開始
昭和48年(1973) ○鶴宮中閉校
昭和47年(1972) ○佐志小に屋内プール完成
昭和46年(1971) ○宮之城が開放
昭和45年(1970) ○西公園完成
昭和44年(1969) ○町社会福祉協議会を法人化
昭和43年(1968) ○県道鹿兒島水俣線(国道昇格)500号線
昭和42年(1967) ○町立体育館が完成
昭和41年(1966) ○宮之城郵便局が普通郵便局に昇格
昭和40年(1965) ○国民宿舎(さつま庄)オープン
昭和39年(1964) ○山崎郷御飯屋文書が県文化財に指定
昭和38年(1963) ○興隆寺(本堂)内陣が県文化財に指定
昭和37年(1962) ○求名村が分村
昭和36年(1961) ○宮之城村が町制施行
昭和35年(1960) ○山崎村(屋地村、虎居村、船木村、時吉村、湯田村、終野村、求名村、平川村、山崎村、渡村、泊野村、白明川村、山崎村、久置木村、佐志村、廣瀬村、田原村)
明治22年(1899) ○町村制施行

旧鶴田町のあゆみ

- 平成16年(2004) ○町制施行50周年記念式典
平成15年(2003) ○大相撲宮之城場所開催
平成14年(2002) ○北薩広域公園(ふるさとゾーン)オープン
平成13年(2001) ○県営農地開発事業(市立原地区)完成
平成12年(2000) ○山崎小学校舎完成
平成11年(1999) ○中国浙江省安吉県と友好交流協約締結
平成10年(1998) ○ヤマト大橋完成(国道504号)
平成9年(1997) ○防炎無線共用開始
平成8年(1996) ○倉内工業団地第二期工事完成
平成7年(1995) ○宮之城ひまわり館オープン
平成6年(1994) ○県民体育大会開催
平成5年(1993) ○全国実業団バレー男子リーグ開催
平成4年(1992) ○総合体育館が完成
平成3年(1991) ○救急センターが完成
平成2年(1990) ○歴史研修センター開催
平成元年(1989) ○国鉄宮之城駅跡に鉄道記念館建設
昭和60年(1985) ○虎居地区公民館完成
昭和59年(1984) ○佐志地区簡易水道完成
昭和58年(1983) ○山崎地区公民館完成
昭和57年(1982) ○高校総体女子ホッケー競技開催
昭和56年(1981) ○農村勤労福祉センター・保健センター完成
昭和55年(1980) ○片倉工業が閉鎖
昭和54年(1979) ○宮之城商工会館完成
昭和53年(1978) ○町立武道館が完成
昭和52年(1977) ○老人福祉バスを購入
昭和51年(1976) ○里村と姉妹町村協約を締結
昭和50年(1975) ○総合センター完成
昭和49年(1974) ○日本特殊陶業株式会社宮之城工場操業開始
昭和48年(1973) ○鶴宮中閉校
昭和47年(1972) ○佐志小に屋内プール完成
昭和46年(1971) ○宮之城が開放
昭和45年(1970) ○西公園完成
昭和44年(1969) ○町社会福祉協議会を法人化
昭和43年(1968) ○県道鹿兒島水俣線(国道昇格)500号線
昭和42年(1967) ○町立体育館が完成
昭和41年(1966) ○宮之城郵便局が普通郵便局に昇格
昭和40年(1965) ○国民宿舎(さつま庄)オープン
昭和39年(1964) ○山崎郷御飯屋文書が県文化財に指定
昭和38年(1963) ○興隆寺(本堂)内陣が県文化財に指定
昭和37年(1962) ○求名村が分村
昭和36年(1961) ○宮之城村が町制施行
昭和35年(1960) ○山崎村(屋地村、虎居村、船木村、時吉村、湯田村、終野村、求名村、平川村、山崎村、渡村、泊野村、白明川村、山崎村、久置木村、佐志村、廣瀬村、田原村)
明治22年(1899) ○町村制施行

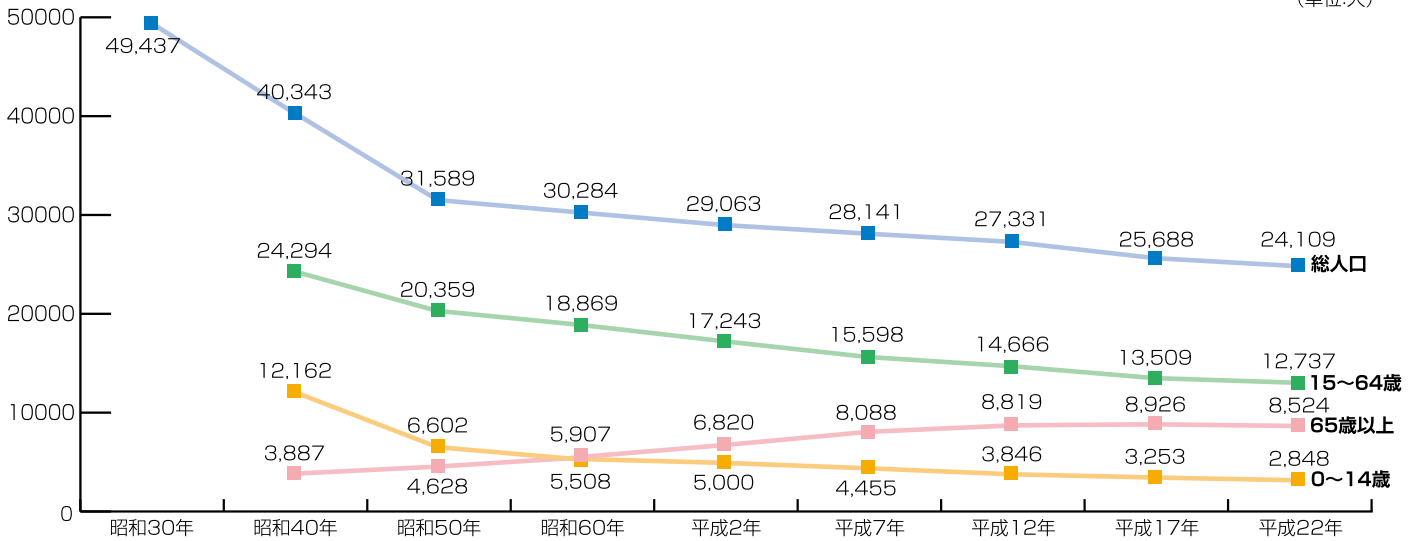
旧薩摩町のあゆみ

- 平成16年(2004) ○町制施行50周年記念式典
平成15年(2003) ○大相撲宮之城場所開催
平成14年(2002) ○北薩広域公園(ふるさとゾーン)オープン
平成13年(2001) ○県営農地開発事業(市立原地区)完成
平成12年(2000) ○山崎小学校舎完成
平成11年(1999) ○中国浙江省安吉県と友好交流協約締結
平成10年(1998) ○ヤマト大橋完成(国道504号)
平成9年(1997) ○防炎無線共用開始
平成8年(1996) ○倉内工業団地第二期工事完成
平成7年(1995) ○宮之城ひまわり館オープン
平成6年(1994) ○県民体育大会開催
平成5年(1993) ○全国実業団バレー男子リーグ開催
平成4年(1992) ○総合体育館が完成
平成3年(1991) ○救急センターが完成
平成2年(1990) ○歴史研修センター開催
平成元年(1989) ○国鉄宮之城駅跡に鉄道記念館建設
昭和60年(1985) ○虎居地区公民館完成
昭和59年(1984) ○佐志地区簡易水道完成
昭和58年(1983) ○山崎地区公民館完成
昭和57年(1982) ○高校総体女子ホッケー競技開催
昭和56年(1981) ○農村勤労福祉センター・保健センター完成
昭和55年(1980) ○片倉工業が閉鎖
昭和54年(1979) ○宮之城商工会館完成
昭和53年(1978) ○町立武道館が完成
昭和52年(1977) ○老人福祉バスを購入
昭和51年(1976) ○里村と姉妹町村協約を締結
昭和50年(1975) ○総合センター完成
昭和49年(1974) ○日本特殊陶業株式会社宮之城工場操業開始
昭和48年(1973) ○鶴宮中閉校
昭和47年(1972) ○佐志小に屋内プール完成
昭和46年(1971) ○宮之城が開放
昭和45年(1970) ○西公園完成
昭和44年(1969) ○町社会福祉協議会を法人化
昭和43年(1968) ○県道鹿兒島水俣線(国道昇格)500号線
昭和42年(1967) ○町立体育館が完成
昭和41年(1966) ○宮之城郵便局が普通郵便局に昇格
昭和40年(1965) ○国民宿舎(さつま庄)オープン
昭和39年(1964) ○山崎郷御飯屋文書が県文化財に指定
昭和38年(1963) ○興隆寺(本堂)内陣が県文化財に指定
昭和37年(1962) ○求名村が分村
昭和36年(1961) ○宮之城村が町制施行
昭和35年(1960) ○山崎村(屋地村、虎居村、船木村、時吉村、湯田村、終野村、求名村、平川村、山崎村、渡村、泊野村、白明川村、山崎村、久置木村、佐志村、廣瀬村、田原村)
明治22年(1899) ○町村制施行

●人口の推移

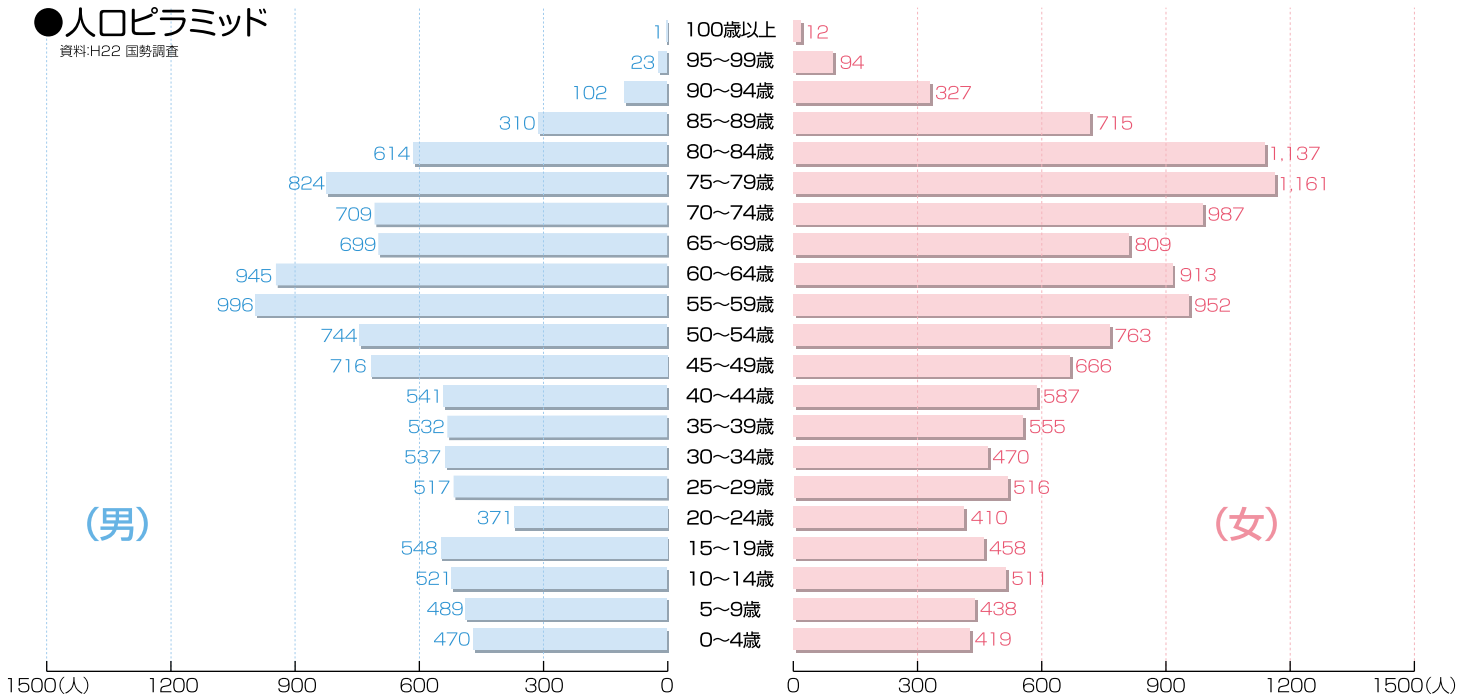
資料:国勢調査

(単位:人)



●人口ピラミッド

資料:H22 国勢調査



●旧町別人口の推移

(単位:戸,人)

年度	町	旧宮之城町				旧鶴田町				旧薩摩町			
		世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	男	女	世帯数	総数	男	女
昭和30年		5,860	29,708	14,106	15,602	1,634	8,428	4,101	4,327	2,270	11,301	5,409	5,892
昭和35年		6,249	27,835	13,120	14,715	1,736	8,166	4,039	4,127	2,241	10,009	4,773	5,236
昭和40年		6,279	24,890	11,538	13,352	1,640	6,926	3,296	3,630	2,138	8,527	4,025	4,502
昭和45年		6,229	21,891	9,981	11,910	1,560	5,869	2,732	3,137	2,066	7,245	3,380	3,865
昭和50年		6,167	19,967	9,088	10,879	1,567	5,349	2,480	2,869	1,932	6,273	2,893	3,380
昭和55年		6,244	19,537	9,024	10,513	1,592	5,265	2,445	2,820	1,898	5,848	2,732	3,116
昭和60年		6,467	19,457	8,943	10,514	1,672	5,229	2,469	2,760	1,876	5,598	2,609	2,989
平成2年		6,580	18,684	8,554	10,130	1,694	5,092	2,359	2,733	1,935	5,287	2,456	2,831
平成7年		6,608	18,083	8,281	9,802	1,679	5,083	2,371	2,712	1,881	4,975	2,294	2,681
平成12年		6,813	17,770	8,239	9,531	1,806	4,968	2,308	2,660	1,810	4,593	2,115	2,478
平成17年		6,706	16,745	7,690	9,055	1,827	4,745	2,215	2,530	1,716	4,198	1,935	2,263
平成22年		6,552	15,813	7,383	8,430	1,792	4,505	2,100	2,405	1,625	3,791	1,726	2,065

資料:国勢調査

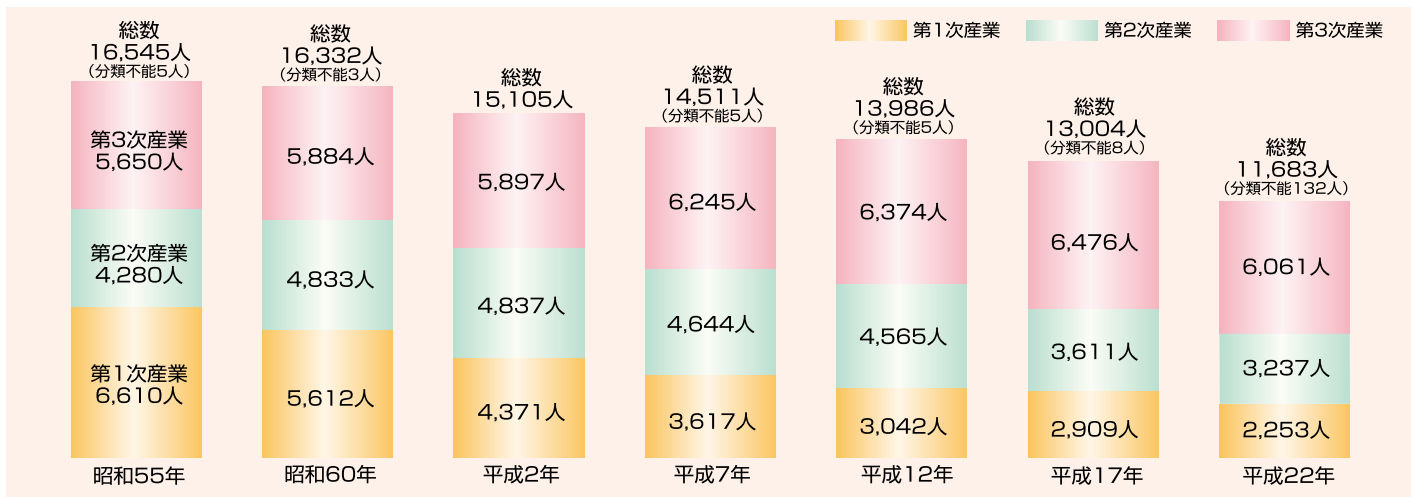
●地区別人口

(単位:人,世帯)

地区名	平成17年国勢調査				平成22年国勢調査				増減率(%)				面積km ²
	総数	男	女	世帯	総数	男	女	世帯	総数	男	女	世帯	
宮之城屋地	3,897	1,782	2,115	1,546	3,749	1,746	2,003	1,519	96.2	98.0	94.7	98.3	3.9
虎居	3,399	1,577	1,822	1,441	3,095	1,442	1,653	1,364	91.1	91.4	90.7	94.7	9.1
時吉	553	265	288	187	522	253	269	196	94.4	95.5	93.4	104.8	1.7
船木	1,833	841	992	652	1,895	880	1,015	674	103.4	104.6	102.3	103.4	13.9
柵野	261	125	136	96	223	116	107	94	85.4	92.8	78.7	97.9	12.4
平川	759	341	418	299	716	335	381	288	94.3	98.2	91.1	96.3	23.9
湯田	1,235	541	694	491	1,154	524	630	491	93.4	96.9	90.8	100.0	3.5
佐志	1,573	713	860	654	1,501	707	794	636	95.4	99.2	92.3	97.2	18.6
山崎	850	395	455	361	772	362	410	354	90.8	91.6	90.1	98.1	4.5
久富木	714	329	385	272	683	312	371	276	95.7	94.8	36.4	101.5	9.7
二渡	854	405	449	355	769	352	417	324	90.0	86.9	92.9	91.3	11.4
白男川	460	215	245	189	408	196	212	177	88.7	91.2	86.5	93.7	11.9
泊野	357	161	196	163	326	158	168	159	91.3	98.1	85.7	97.5	20.7
小計	16,745	7,690	9,055	6,706	15,813	7,383	8,430	6,552	94.4	96.0	93.1	97.7	145.2
鶴田	1,041	491	550	418	965	464	501	404	92.7	94.5	91.1	96.7	20.8
神子	1,313	631	682	497	1,241	592	649	486	94.5	93.8	95.2	97.7	31.1
柏原	1,616	750	866	623	1,582	721	861	621	97.9	96.1	99.4	99.7	11.7
紫尾	775	343	432	289	717	323	394	281	92.5	94.2	91.2	97.2	14.3
小計	4,745	2,215	2,530	1,827	4,505	2,100	2,405	1,792	94.9	94.8	95.0	98.0	77.9
求名	1,760	803	957	709	1,637	736	901	676	93.0	91.7	94.1	95.3	31.0
中津川	1,205	584	621	474	1,097	524	573	468	91.0	89.7	92.3	98.7	18.3
永野	1,233	548	685	533	1,057	466	591	481	85.7	85.0	86.3	90.2	31.6
小計	4,198	1,935	2,263	1,716	3,791	1,726	2,065	1,625	90.3	89.2	91.3	94.7	80.9
合計	25,688	11,840	13,848	10,249	24,109	11,209	12,900	9,969	93.9	94.7	93.2	97.3	304

資料:国勢調査、住民基本台帳、面積については総務省統計局統計GISブラウザのデータ

●産業別15歳以上就業者数の推移



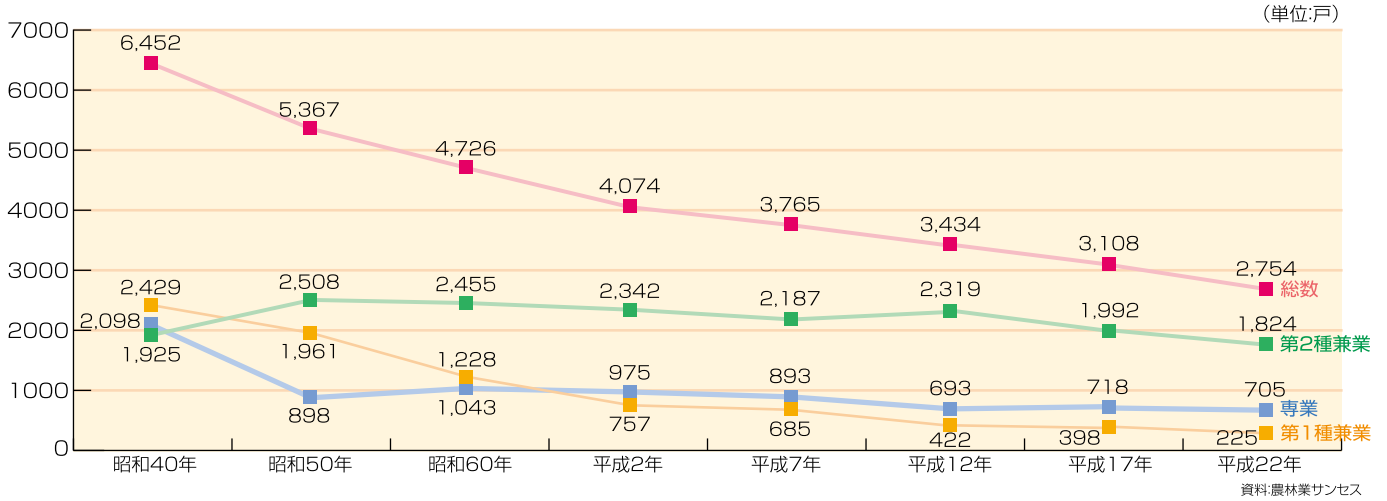
資料:国勢調査

●町民所得主要指標の推移

年 度	人 口(人)	町内総生産(千円)	町民総所得(千円)	一人当たりの町民所得(千円)
16	26,032	81,929,232	55,620,687	2,137
17	25,688	80,857,536	57,561,832	2,241
18	25,190	81,458,342	57,487,816	2,282
19	24,879	83,579,209	57,711,087	2,320
20	24,594	80,548,969	52,304,442	2,127
21	24,364	86,722,829	51,548,211	2,116
22	24,109	94,481,543	56,302,695	2,335

資料:市町村民所得推計

●農家数の推移



●農家年齢別世帯員構成

(単位:人)

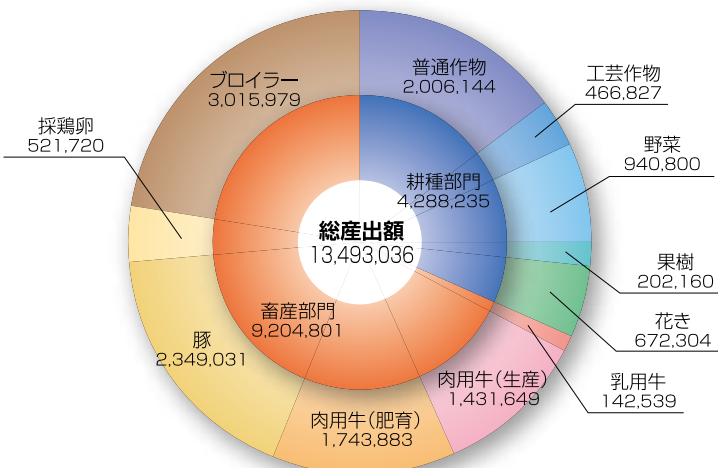
区分	総数	14歳以下	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上
平成2年	14,581	2,265	680	1,004	1,573	1,497	2,556	5,006
	構成比	100	15.53	4.66	6.89	10.79	10.27	34.33
平成7年	13,080	1,719	671	711	1,210	1,628	1,718	5,423
	構成比	100	13.14	5.13	5.44	9.25	12.45	41.46
平成12年	11,741	1,338	666	747	883	1,492	1,395	5,220
	構成比	100	11.40	5.67	6.36	7.52	12.71	44.46
平成17年	7,558	665	400	504	444	873	1,128	3,544
	構成比	100	8.80	5.29	6.67	5.87	11.55	46.89
平成22年	5,901	381	281	396	319	588	968	2,968
	構成比	100	6.46	4.76	6.71	5.41	9.96	50.30

資料:農林業センサス(※農家人口の平成7年以前は自給的農家含む)

●平成24年度農業産出額

区分	産出額(千円)	割合(%)
耕種部門	4,288,235	
普通作物	2,006,144	14.9
工芸作物	466,827	3.3
野菜	940,800	7.0
果樹	202,160	1.5
花き*	672,304	5.0
畜産部門	9,204,801	
乳用牛	142,539	1.1
肉用牛(生産)	1,431,649	10.6
肉用牛(肥育)	1,743,883	12.9
豚	2,349,031	17.4
採鶏卵	521,720	3.9
ブロイラー	3,015,979	22.4

※花きについては平成23年度実績 農政課資料



●気象状況/気温・降水量(年別)

(単位:℃,mm)

年次	気温			降水量	
	最高	最低	平均	最大日量	総量
平成16年	36.3	-4.0	17.3	205	2,464
平成17年	36.4	-4.1	16.6	206	2,535
平成18年	35.6	-6.3	16.6	376	3,325
平成19年	35.6	-6.1	16.7	117	2,128
平成20年	35.3	-7.5	16.1	223	2,728
平成21年	34.9	-4.7	16.3	116	1,831
平成22年	35.1	-5.5	16.4	229	3,680
平成23年	34.9	-6.3	15.8	241	2,842
平成24年	34.9	-7.4	15.6	192	3,241

資料:アメダス(さつま柏原観測点)

●気象状況/気温・降水量(月別)

(単位:℃,mm)

月間	気温			降水量	
	最高	最低	平均	最大日量	総量
1	16.9	-5.9	4.7	19.5	47.0
2	19.6	-7.4	6.4	45.5	245.5
3	22.9	-3.2	10.2	59.5	210.0
4	29.4	-0.9	14.6	54.5	203.5
5	30.7	9.2	19.0	34.5	102.5
6	31.2	13.4	22.2	191.5	930.5
7	34.7	18.2	26.0	117.5	686.0
8	34.9	19.4	27.0	38.0	182.0
9	32.4	12.1	22.9	78.0	282.0
10	28.8	5.7	17.3	29.5	53.5
11	21.0	-2.3	10.8	40.5	130.0
12	17.6	-4.5	6.5	59.0	173.5

資料:平成24年アメダス(さつま柏原観測点)

●産業別人口

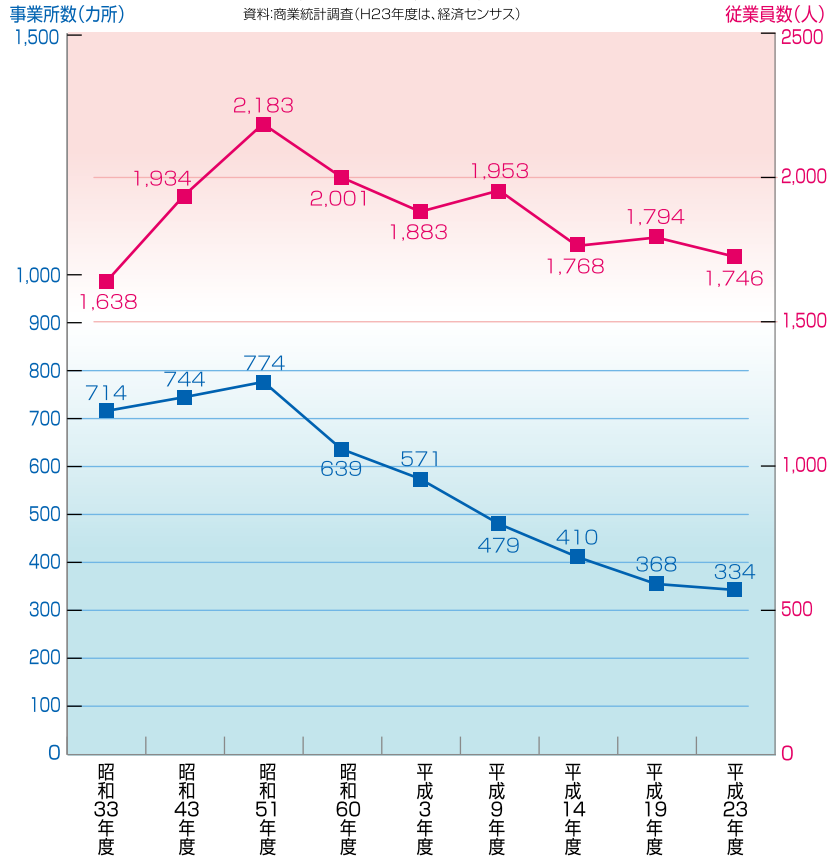
(単位:人)

業種	事業所数	従業員数		
		総数	男	女
総数	1,151	10,530	5,465	5,065
第1次産業	45	444	229	215
農業	43	414	202	212
林業	1	26	24	2
水産業	1	4	3	1
第2次産業	218	3,460	2,353	1,107
鉱業採石業砂利採取業	1	5	3	2
建設業	117	795	684	111
製造業	100	2,660	1,666	994
第3次産業	888	6,626	2,883	3,743
電気ガス熱供給水道業	1	12	11	1
情報通信業	1	1	1	0
運輸業・郵便業	15	211	191	20
卸売業	40	286	150	136
小売業	294	1,460	593	867
金融・保険業	16	128	58	70
不動産業・物品賃貸業	36	84	44	40
学術研究・専門・技術サービス業	28	67	45	22
宿泊業・飲食サービス業	126	679	206	473
生活関連サービス業・娯楽業	138	421	196	225
教育・学習支援業	18	50	20	30
医療・福祉	70	1,784	547	1,237
複合サービス事業	30	936	539	397
サービス事業(他に分類されないもの)	75	507	282	225

平成24年現在(経済センサス)

●商店数・従業員数の推移

資料:商業統計調査(H23年度は、経済センサス)



●商業の概要

(単位:人,百万円)

	商店数	従業員数	年間売上額
卸売・小売業	334	1,746	17,248

平成24年経済センサス

●平成22年業種構成比(従業員4人以上)

(単位:所,人,万円)

業種	事業所数	従業員数	出荷額等
食料	8	573	1,709,221
飲料	11	83	93,489
繊維	2	59	x
木材	4	42	24,367
印刷	1	6	x
窯業	7	196	146,944
金属	4	84	127,122
生産	8	258	242,056
電気	5	867	4,016,890
電子	4	267	91,815
その他	1	8	x

資料:鹿児島県ホームページ「鹿児島の工業」より
※xについては未開示

主な公共施設

●本庁・支所

(0996)

施設等名称	所在地	電話番号
さつま町役場(本庁)	〒895-1803 さつま町宮之城屋地1565番地2	53-1111
鶴田支所	〒895-2102 さつま町神子663番地1	53-1111
薩摩支所	〒895-2201 さつま町求名12837番地	53-1111

●消防・救急

(0996)

施設等名称	所在地	電話番号
消防本部(消防署)	〒895-1816 さつま町時吉366番地	52-0119

●保健センター・福祉施設

(0996)

施設等名称	所在地	電話番号
宮之城保健センター	〒895-1803 さつま町宮之城屋地887番地1	53-1983
老人福祉センター	〒895-1817 さつま町湯田1512番地28	55-9055
鶴田保健センター	〒895-2102 さつま町神子228番地1	31-5110
宮之城ひまわり館(社会福祉協議会)	〒895-1803 さつま町宮之城屋地2117番地1	52-1123
太陽福祉センター	〒895-1803 さつま町宮之城屋地2115番地1	53-1943
地域包括支援センター	〒895-1803 さつま町宮之城屋地2030番地	52-4690

●生活環境施設

(0996)

施設等名称	所在地	電話番号
環境センター(し尿処理)	〒895-1801 さつま町広瀬5410番地	53-0013
クリーンセンター(ごみ焼却)	〒895-1817 さつま町湯田2734番地8	53-3111
やすらぎ苑(火葬場)	〒895-1804 さつま町船木5001番地3	53-1516

●観光・交流体験施設

(0996)

施設等名称	所在地	電話番号
宮之城伝統工芸センター	〒895-1811 さつま町虎居2638番地	52-1313
薩摩ガラス工芸館	〒895-2201 さつま町永野5655番地5	58-0141
観音滝公園交流センター	〒895-2202 さつま町中津川17601番地	58-0038
観音滝温泉滝の宿	〒895-2202 さつま町中津川17601番地	58-0889
健康ふれあいセンターあび〜る館	〒895-2102 さつま町神子228番地7	31-5015
県立北薩広域公園	〒895-1811 さつま町虎居5470番地	21-3939

●生涯学習・社会教育・文化・町民スポーツ施設

(0996)

施設等名称	所在地	電話番号
宮之城文化センター	〒895-1804 さつま町船木302番地	53-1732
宮之城歴史資料センター	〒895-1811 さつま町虎居5228番地	52-3340
ふるさと薩摩の館	〒895-2201 さつま町求名12753番地3	57-0970
屋地楽習館	〒895-1803 さつま町宮之城屋地887番地	53-1994
鶴田中央公民館	〒895-2102 さつま町神子666番地1	59-2022
薩摩農村環境改善センター	〒895-2201 さつま町求名12753番地3	57-0970
宮之城運動公園	〒895-1804 さつま町船木147番地9	52-1888
宮之城総合体育館	〒895-1804 さつま町船木308番地2	52-1888
宮之城屋内温泉プール	〒895-1816 さつま町時吉1746番地1	52-2610
かぐや姫グラウンド	〒895-1811 さつま町虎居5139番地	52-1888
鶴田体育館	〒895-2102 さつま町神子668番地10	59-2022
薩摩総合運動公園	〒895-2201 さつま町求名12761番地6	57-0970
B&G海洋センター	〒895-2201 さつま町求名12753番地3	57-0898

●特産品直売所

(0996)

施設等名称	所在地	電話番号
宮之城ちくりん館	〒895-1816 さつま町時吉40番地	52-4911
平川郷	〒895-1807 さつま町平川17412番地1	54-2979
せせらぎの郷二渡	〒895-1723 さつま町二渡4195番地1	31-7620
つるだ特産品販売所「自慢館」	〒895-2104 さつま町柏原4416番地1	31-9121
さつま特産品直売所	〒895-2203 さつま町永野665番地	58-0199
さつま物産館	〒895-1803 さつま町宮之城屋地2036-4	53-0525

幼稚園・保育園・学校等一覧

●幼稚園・保育園

(0996)

施設等名称	所在地	電話番号
町立鶴田幼稚園	〒895-2102 さつま町神子758番地	55-9950
宮之城聖母幼稚園	〒895-1811 さつま町虎居1020番地	53-0602
山崎保育園	〒895-1721 さつま町山崎861番地	56-8555
佐志保育園	〒895-1801 さつま町広瀬1242番地7	53-1378
太陽保育園	〒895-1803 さつま町宮之城屋地2115番地	52-2551
信教寺保育園	〒895-1803 さつま町宮之城屋地1115番地	53-3130
吉祥園保育所	〒895-1812 さつま町虎居町1779番地1	53-0305
保育園クオラキッズ	〒895-1804 さつま町船木2317番地	53-0335
上宮保育園	〒895-1807 さつま町平川1872番地	54-2672
しび保育園	〒895-2103 さつま町紫尾1468番地	59-8367
旭保育園	〒895-2104 さつま町柏原5183番地	59-8675
つるだ同朋保育園	〒895-2101 さつま町鶴田3424番地	59-3074
錦光保育園	〒895-2201 さつま町求名2735番地7	57-0882
恵光保育園	〒895-2202 さつま町中津川1986番地1	57-0845

●小学校・中学校・高等学校

(0996)

施設等名称	所在地	電話番号
山崎小学校	〒895-1821 さつま町山崎129番地	56-8414
白男川小学校	〒895-1805 さつま町白男川1501番地1	52-2876
泊野小学校	〒895-1806 さつま町泊野451番地	54-2003
盈進小学校	〒895-1803 さつま町宮之城屋地1546番地3	53-1588
平川小学校	〒895-1807 さつま町平川2008番地	54-2341
柁野小学校	〒895-2131 さつま町柁野467番地	59-8203
流水小学校	〒895-1817 さつま町湯田1128番地	55-9101
佐志小学校	〒895-1801 さつま町広瀬1175番地	53-0510
鶴田小学校	〒895-2101 さつま町鶴田2880番地	59-2017
柏原小学校	〒895-2104 さつま町柏原1588番地	59-8674
紫尾小学校	〒895-2103 さつま町紫尾133番地	59-8673
求名小学校	〒895-2201 さつま町求名2737番地	57-0009
永野小学校	〒895-2203 さつま町永野2562番地	58-0021
中津川小学校	〒895-2202 さつま町中津川14269番地	57-0486
山崎中学校	〒895-1821 さつま町山崎1269番地	56-8524
宮之城中学校	〒895-1803 さつま町宮之城屋地1422番地	53-1587
鶴田中学校	〒895-2102 さつま町神子662番地	59-2009
薩摩中学校	〒895-2201 さつま町求名12761番地1	57-0101
鹿児島県立薩摩中央高等学校	〒895-1811 さつま町虎居1900番地	53-1207
鹿児島県立宮之城高等技術専門学校	〒895-1804 さつま町船木881番地	53-0207

●教育委員会事務局・給食センター

(0996)

施設等名称	所在地	電話番号
さつま町教育委員会	〒895-1804 さつま町船木302番地	52-1230
さつま町教育委員会鶴田事務所	〒895-2102 さつま町神子666番地1	59-2022
さつま町教育委員会薩摩事務所	〒895-2201 さつま町求名12753番地3	57-0970
宮之城学校給食センター	〒895-1802 さつま町柏原2205番地1	53-1117
鶴田学校給食センター	〒895-2102 さつま町神子668番地10	59-2071
薩摩学校給食センター	〒895-2201 さつま町求名12503番地3	57-0103



さつままるちゃんのプロフィール

正体：さつま町の特徴をてんこ盛りにした愛らしい妖精
 誕生日：2011年11月29日(いいにくの日)
 命名日：2012年3月29日
 性別：男の子？
 性格：おだやかでやさしいが好奇心旺盛!!
 なんでもチャレンジしちゃうタイプ
 特徴：お尻がピカピカに光る。
 特技：空を自由に飛ぶことができるが人前では飛べない。
 さつま町のいろんなものを魔法でたせる。
 好きな食べ物：さつま町の特産品
 (たけのこ、薩摩西郷梅、あおし柿は特に大好き)

■ さつま町町民憲章

わたくしたちさつま町民は、先人達が築いてきた歴史と山紫水明の豊かな自然に感謝し、健康で明るく住みよいまちづくりへの誓いをこめて、ここに町民憲章を定め、その実践に努めます。

思いやりと温もりで育む心豊かなまちをつくります

豊かな地域資源をいかした活力あるまちをつくります

人と自然が共生する美しいまちをつくります

生きがいをもとめ楽しく学び文化の薫るまちをつくります

元気で笑顔にあふれ互いに支えあうまちをつくります



町の木
『モミジ』

カエデ科の落葉広葉樹で、古くから風致樹として多くの人々に親しまれ町内にも広く分布し、夏は緑、秋は赤と葉色が変化する季節感のある木です。
観音滝公園や鶴田ダム周辺は紅葉の名所で、町民の憩いの場となっています。



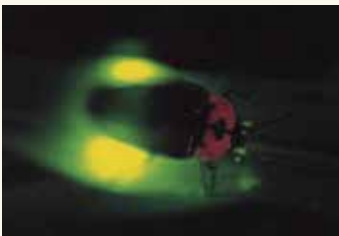
町の花
『薩摩寒蘭』

常緑多年生の蘭科植物で、壺峰紫尾山に自生し、その種類の多さ、花の姿、色彩の美しさ、芳香の良さから愛好者も多く、全国的にもその名が知られています。
秋には「薩摩寒蘭展示大会」が開催され、多くの愛好者が訪れます。



町の鳥
『オシドリ』

カモ目カモ科。雄は秋になると鮮やかな羽毛で覆われます。
北薩広域公園付近の川内川に多く飛来し、河畔に設置された観察小屋から、その美しい姿を見ることができます。
付近には、オシドリのモニュメントが並び「鴛鴦（おしどり）橋」もあり、古くから親しまれています。



町の昆虫
『ホタル』

コウチュウ目ホタル科。5月中旬に町内各地の川内川河畔などで多く見られ、その数は全国屈指といわれています。
その幻想的な光に癒しを求めて、町内外からホタル鑑賞に訪れる方々も多く、各地でイベントが開催され、観光振興にも大きく寄与しています。



町の竹
『孟宗竹』

イネ科。本町のいたる所に群生し、きわめて生長が早く、風雪に耐える力強さがあります。
本町は県内でも有数のたけのこ産地として知られており、また、竹工芸品や竹炭生産のほか、たけのこ掘りや竹細工などをメニューにした、体験型観光も行われるなど、産業振興にも大きく寄与しています。